

本所龜井戸の近所也。

ま 眞土山 千住海道也、山上に聖天宮在。

眞土山夕こへ暮ていほ崎の角田川原に獨かもねん。是夏の事也、夏日にはいくばくの遊船を浮て、納涼のあせをす、げり、万年石 品川東海寺の泉水に在。

ふ 富士見坂 赤坂松平出羽守殿屋敷の前也 富士見馬場 牛込若宮八幡の近所也

こ 小路町の井 神田明神の内に在 御福の井 初は傳通院の内ニ在今は松平播磨守殿屋敷の内ニ在 金王櫻 澀谷八幡宮の邊ニ在、澀谷金王丸が植置し木成といへり、古木は枯て

新樹也、腰掛松 目黒不動の坂口に在 幸國谷 市兵衛町より赤坂へ行坂也 骨塚原

千住礫場の近所一片の原也。

あ 淺草川 角田川也、又は三屋戸川共云、あか羽川 白銀原の先也、今新堀へ續て流、かはら

け町の末の橋を、あかばね橋と云、其ひろこうじを、なべてあかばねと云、白銀原の先と云は、川上をさすらん、淺茅が原 妙喜山の近所也 葵の岡 虎御門外織田殿屋敷前溜池池上 江

出る坂の辻番所の脇を云

さ 櫻川 芝ニ在、今源助橋の流をまか云と、鷺の森 麻布元御薬園の先也、宮在 三途の渡

淺草かや町より向へ渡る所を云也、明曆中焼死たるものを、舟に積て無縁寺に運びける川口なれば、初て三途の渡シとはいへる也。

き 行人坂 目黒の入口也

め 妙龜山 あさちか原、總泉寺の前也、梅若丸の母堂をいへる山號也 目黒川 行人坂の下

こりかきば也 目黒原 此原を上めぐる、中めぐる、下めぐる、とて、打つゝきて廣野也。

み 三川島 谷中の後に在、往昔三河の諸士供奉の恩賞に給る地也。